

活動報告書
よこはまワンダーキッズ ワンダーコース
第2回 「～生き物に触れよう～干潟の生き物探し」

実施日時: 2019年7月7日(日)
会場: 大師河原干潟(神奈川県川崎市)

<活動のねらい>

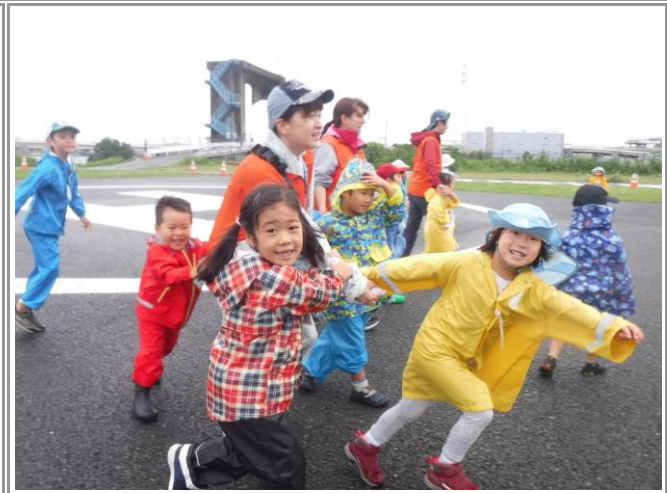
- 生き物に触れる(触る・観察する)
→好奇心を高めるためのきっかけの日
- 班やワンダーコースの基盤づくり

<プログラムの構成要素>

- 自然に対する好奇心 ★★★
- 創意工夫を楽しむ心 ★
- 仲間とやってみようとする心 ★



今回は単発班が3つあり、「はじめまして」の友だちも多くいましたが、すぐに打ち解け、笑顔あふれる朝の出発となりました。天候は梅雨ということもあり雨の中での活動となりましたが、子どもたちは気にも留めないようで、一日中元気いっぱいでした。



雨が止んでいる合間に広場をダッシュ!活動は2回目となり、キャンプカウンセラーと班の友だちの名前は覚えたようです。思い切り身体を動かし、生き物探しのウォーミングアップは完璧。お昼を食べる前から、どんな生き物が見つけられるのかウキウキしている様子が伺えました。



昼食後、待ちに待った生き物探しへ。最初はじっと観察。よく見ると動く土…そして、見つけたカニのハサミに「いた！！動いた！！」と興奮気味な声が響き渡りました。「こわい。掴めない。」と近づけない子もいましたが、「僕が捕まえるから、見つけたら教えて！」と役割分担をしていました。



「優しく捕まえようね。」「水槽に土、入れた方がいいかな？」と生き物を思いやる姿も見られました。最初はカニを怖がっていた子も怖くないことを知ると、触ることにチャレンジをし、とても満足そうでした。



カニの他にも魚や貝など、さまざまな生き物を発見しました。「このカニ、目が長くてカタツムリみたい！」「魚きれいだね。」「どこに返せばいいかな？」と、生き物を見つけ観察をし、しっかりと住処に戻すところまで夢中だった子どもたち。生き物に対する興味関心はとても高く、目がキラキラしていました。今回感じた、おもしろいという気持ちや新しい発見をきっかけに、自然に対する好奇心を積み上げていければと思います。